

## 「あの日の狐狗狸さん」

### ◆登場人物◆

琴平 あかね  
栗林 かおる  
三田村 さき

はせ ひろいち

【SCENE1】とある廃校になった県立高校の再利用施設の一室。舞台奥に窓枠が吊られている。2人の女性（＝琴平あかねと栗林かおる）がテーブルに腰かけている。栗林かおるが、自分のタブレット端末を琴平あかねの目の前に掲げ、画面を見せている。なぜか床に空のビニール袋が2つほど放置してある。

琴平あかね ふーん。

栗林かおる「 だから声に出してさ。

あかね ああ、うん。…そもそもは、机に乗せた人の手がひとりで動く現象

として、ダヴィンチの昔から有名な「テーブル・ターニング」を起源に持つ。日本で流行したのは19世紀末。すでに欧米で販売されていた「ウイジャボード」なるものを、外国船員が伝えた。ちなみに戦場で進撃か撤退かの判断を迷った際に、この手の神託を用いた例も多く、米国海軍では、机上の作戦会議自体をいまだに「ウイジャボード」と読んでいる。

かおる「 そんなに古くから、世界的にあったなんてねえ。

あかね うん。…もともと占いの要素が強かったが、日本では独自の発達を遂げ……上にあげて。

かおる「 え、上？……あ、そうか。

タブレットの画面をスライドしてやるかおる。確認して、あかねが見やすい角度にタブレットを戻す。

あかね 日本では独自の発達を遂げ、特に昭和に入ると、心霊ブームや恐怖を

テーマにした漫画「うしろの百太郎」の中で紹介されたのをきっかけに、少女少女の間で一大ブームを引き起こした。

かおる「 懐かしいなあ。

あかね 子供たちが学校の放課後や休憩時間に面白半分に行うケースが多発し、多感な生徒たちの中には精神的な影響も見られ、学校が厳重注意や禁止事項に加えることも……

かおる「 ……ん？ あ、そうか…

画面を見つめたまま固まっているあかね。慌てて自分のバッグから空のビニール袋を取り出し、あかねの前でシャカシャカと音をだす。ややあつてあかねが動きを取り戻し、かおるは床にコンビニ袋を捨てる。

あかね ……ああ、ごめん。私、止まってた？

かおる「 何かインターバル早くない？ いつもより。

あかね ……緊張かな？

かおる「 緊張？ まさか、あかねが？

あかね そりやあまあ、一応…

かおる「 ふーん…

あかね んでと………学校が禁止にしたケースがあつて……ああ、ここか……地域によって多少の違いはあるものの、一般的には、一枚の白い紙に鳥居と「はい」「いいえ」の文字を書き、その下に平仮名の50音の表を書く。さらにその下に0～9の整数を書き10円玉を一枚用意する用意する。

かおる「 はい、それがこちら。

あかね えっ？

自分のカバンからコックリさんの紙を取り出し、折り跡を伸ばして机に広げるかおる。

あかね お手製って奴？

かおる「 そ、今日のために。

あかね ホントそういう事はマメだよね。気が乗らない事には滅法いい加減なのに。  
かおるこ ちよっと実験。はい10円玉。  
あかね 動かせてか？ スマホの画面でもダメなのに：  
かおるこ ま、だから実験よ。  
あかね うーんと：

恐る恐る10円玉にて指を添えるあかね。見守るかおるこ。

かおるこ あ、動いた。  
あかね 少しだけね。  
かおるこ 行ける行ける。  
あかね (手を放し)ふうう。  
かおるこ 結構疲れる？  
あかね や、疲れるって風じゃないんだけどね：ねえ、本当にやるの？  
かおるこ うん。  
あかね 言い出したら聞かないからなあ：  
かおるこ (立ち上がって窓に近づき)にしても遅いなあ：  
あかね 同窓会って言ってるんでしょ？  
かおるこ ある意味嘘ではない。  
あかね ばれたんじゃない？  
かおるこ ちゃんと往復はがきで通知出したし、返信用はがきも戻って来たし…  
あかね にしてもどこかで勘づいてさあ、ほら、さきって昔から変なトコで鋭  
いって言うか…あ… (凍り付く)  
かおるこ ……え？ うそ… (カバンに向かい)ちよっと、早すぎるって…  
あかね 違う違う。

空気を読む視線でとある方向に視線をむけ、おもむろに指さすあかね。しばしの間。

かおるこ え？ ……さき？  
三田村さき (視線の先から登場し) ふん。相変わらず勘が良いこって。

あかね 遠路はるばるだね。  
かおるこ え、立ち聞きしてたの？  
あかね ううん、今しがた。  
さき 人聞き悪いなあ。今しがた着いたところよ。まあ、でも入ろうとしてアンタのモノローグが聞こえたから少し躊躇はしたけどね。  
かおるこ モノローグって…あああ。  
あかね あああ。  
さき 何？ まだ市民劇団とかやってるの？ あ、それともボケました？  
かおるこ 止めてよ。あ…

慌てて机上のコックリさんの紙を隠すかおるこ。

さき ん？ 何か隠した？ ああ、台本？  
かおるこ まあ、そんなトコ。  
さき ふーん。で？ アンタだけ？  
かおるこ え？ ああ、や、これにはいろいろ…  
さき そんな事だろうと思った。  
かおるこ えっ？  
さき どうせ私が関西だからばれないって思ったんでしょ？  
かおるこ え、じゃあ知ってて？  
あかね ほらあ。  
さき 葉子、覚えてない？ ほらテニス部の。  
あかね あああ。  
かおるこ 家が薬屋やってた？  
さき そうそう。えっと旧姓なんっだったっけか…  
あかね 高梨。  
かおるこ ああ、高梨。  
さき そう、高梨高梨。今は吉田なんだけどね。で、その旧姓高梨葉子が大阪に嫁いでて、難波のデパートでばったり会ったのよ。それが何と、アンタからの同窓会通知をポストに投函した直後だね。

あかね あちやちや。  
かおるこ あちやちや。  
さき あちやちやじゃないよ。葉子に「来月行く？」とか聞いてちやって、「私

には連絡来てない」ってなつて気まずくなるしさあ。

かおる「それはすいませんでした。

さき（葉書を取り出し）そもそも面倒くさがりのアンタが、わざわざ今さら幹事つてのも変ちゃ変だった。

かおる「仰る通り。

さき「そこは否定しろよ。

あかね「まあまあ。

さき「にしてもさあ…

部屋を上げしげと見回すさき。さきが机上に置いた葉書を、手には取らず興味深そうに見るあかね。

さき「ずいぶん変わったよね。

かおる「ああ、ココ？ 一応、廃校利用の多目的施設だから。それも結局、

採算の目途が立たずに来年には取り壊し。

さき「そうなんだ…（窓辺に向かい）ココも駅前も。

あかね「あ、漢字間違ってる。

かおる「うそ。

さき「え？ 何？

かおる「ああ、いやいや…

さき「え？ 変わったでしょ？ 何かチェーン店ばっかだし。

かおる「ああ、うん。

あかね（からかうように「シー」の身振り）

かおる「ったく…

さき「で？ こんな手の込んだコトして、何の話？

かおる「うん…どこから話そうかな…手順が難しくさあ…

さき「ふん。手順も何も、どうせ詰めが甘いんだから。

かおる「まずは、そうだなあ…久しぶりにこれでもやらないかなって…

一旦隠したコックリさんの紙を見せるかおるこ。

さき「これって…

かおる「懐かしいでしょ？

さき「…アンタ、マジで言ってる？

かおる「最近便利だよ。ネットでサンプル画像が出て来るの。10円玉もちゃんと清めてきたしい。そうそうこれがデザインされたTシャツまで通販してさあ、私思わず…

さき「どうして？

かおる「…すいません。

さき「…今のは何を謝ったの？

かおる「や、その…手順間違えたかなって…

さき「だって…一人足りないじゃん。

かおる「まあ、そうなんだけども。

さき「…もうすぐ1年？

かおる「うん。来月1周忌。

さき「…そっか…結局、怒ってるのね。私を責めてるのね。

かおる「え？ 違うよ。

さき「あかねが死んだって聞いたのに葬儀も通夜も来なかった。いまだに線

香の一本もあげてない…

かおる「ずっと待ってた。告別式でも、納骨の時も。

さき「うん。

かおる「私だけはアンタの姿を探してた。

さき「うん。

かおる「でも仕方ないよ。なんか大変な時期だったんでしょ？

さき「息子夫婦が離婚で揉めてて旦那が入退院繰り返して…

かおる「うん。

さき「でも全部言い訳。自分で判ってる…怖かった。いきなりあかねの死を聞いて。足がすくんだ。

かおる「うん。

さき「子育てひと段落ついたら、アンタ達の事ばかり思い出した。何度も連絡

取ろうとして、今年こそ、来年はきつとって…でも全然間に合わなかった…

かおる「さき…

さき「そんなに単純じゃないんだって。ずっとココで暮らしたアンタ達には

判らないよ。親の仕事の都合でさ、子供のころから何度も転々と…

あかね「なるほど。

思わずあかねを見るかおるこ。思えばさきは入室後、一度もあかねを見てはいない。あかね、穏やかな視線をかおるこに送る。

さき どこに引つ越しても、いろいろリセットしないとやってけないからね。押しつぶされないように。

あかね (かおるこに) お得意のおセンチだ。長くなるぞ。

かおるこ あかね…あ。

さき その名前も久しぶりに聞いたな。でも、不思議とアンタとあかねの事だけはいつまで経っても消せなかった…

あかね ほら。入り込んでから会話の違和感に気付かない。

かおるこ なるほど…(意を決め)でもそれはお互い様でしょ?

さき そう、お互い様って諦めて…って、え?

かおるこ 夏休みの最後のコックリさん。どうせあの時、もう引つ越すことは判ってたんでしょ?

さき まあね…言おうかどうか迷ってたのよ。でも、アンタ達がインチキするから…

かおるこ してないって。インチキなんか。

あかね 行け行け。

さき どうせあれでしょ。私が占って欲しかった杉山君のコト、かおるこかあかねが狙ってたんでしょ? それで私に諦めさせようとして…

あかね そうだそうであ。

かおるこ (あかねに) どっちの見方よ!

さき はい!?

かおるこ もういい! 面倒くさい! やっぱ手順が違った!

あかね 相変わらず限界早いなあ。

かおるこ (バッグを覗き込み) あ、やべ、あと4枚か…

あかね 大丈夫大丈夫。

バッグの中から新しいコンビニ袋を取り出すかおるこ。

かおるこ 作戦変更。はいこれ。

さき 何よ…

かおるこ いいからクシクシして。

さき クシクシして?

かおるこ 揉むのよ、音たてて。

さき ああ、あれね。乳飲み子やペットがうるさい時、静まらせる裏技って奴ね。って、私は乳飲み子か!

あかね 私はペットか!

かおるこ (少し混乱して) イイから言われた通りにしろお!

さき (気おされ) あほくさ…(クシクシする) これでいいの?

かおるこ もっと長く。見えてくるまで。

さき 何のおまじないだか…

意地でも長くクシクシするさき。やがて少し明かりが暗くなり、さきの意識合わせで戻る。

さき え?...えええつ…

あかね うつす。

さき あかね?...どうして…

かおるこ はいココで時間稼ぎ。

机上のタブレットをあかねの正面に置くかおるこ。

かおるこ 続き呼んで。

あかね あ、はい。…3人が指を乗せたコインがなぜ動くのか? これに関

しては概ね2つの仮説が立てられる。すなわち、潜在意識説と不覚筋動である。前者は言い換えれば自己暗示、自己催眠がなせる業で、例えば仮に3人の中の1人が、意図的に答えに導こうとしても、3人いるからその力の源は特定されにくく、早い話ばれにくい。

さき それが何よ。

かおるこ いいから、もう少し。

あかね 後者の不覚筋動とは、平たく言えば筋肉の疲れによる現象である。硬貨に指を添えたまま、同じ姿勢を取り続けると、ヒトの筋肉はあつと言う間に疲労し、無意識に筋肉が動くようになる。そしてひとたびコインが動く、その方向へより動かそうとする意識が働く。…動かして、画面。

かおるこ 自分でやってごらん、さっきの10円玉の要領で。

あかね あ、うん。

かおるこ (さきに) 落ち着いた？

さき これが時間稼ぎ？

かおるこ 私の時もそうだったから。あかねの存在に納得するのに無駄な時間か掛かったから。ね、少しは受け入れやすくなったでしょ？

さき アンタの時って？

あかね あ、動いた。

かおるこ すごいじゃん。

あかね えっと…コックリさんなる現象が、決して霊の仕業ではない、と主張する科学者は、様々な実験を試みた。多くの被験者に実際コックリさんをやってみてもらった。「明日の天気」を質問すると、コインは滑らかに動いたが、被験者たちが知らない専門知識では不動だった。「第5代アメリカ大統領のイニシャルは？」と聞いてもコインは微動だにしなかった。

さき さすがにこつそりスマホ検索は出来ないしね。

あかね コックリさんは神の割には万能でなく、何故か参加者の知識の範囲でお答えになる。また、被験者にアイマークレコーダーを装着させ視線の動きを観察したところ、質問を聞いた際、十円玉の動きよりも先に、回答となる語句の文字を目で追っている被験者もいた。…ちよつと休憩。

かおるこ もういいよ。ありがと。

さき アンタの時はどうだったの？ 何で見えたの、あかねが。

かおるこ ああ、あの時はねえ…溜め込んだコンビニ袋が部屋を埋め尽くしてきたから、ちよつと畳もうかなくてワシヤワシヤやって、気づいたらすぐ横にいた。

あかね うっす。

さき 怖いな、そりゃあ。

かおるこ でしょ？ だから余計なパニックを防いであげたのよ。

さき そりゃどうも…。

あかね あの時はちよつと期待してた。部屋中に触媒が散らかってたから。

さき 触媒ねえ…

あかね そろそろ帰ろうかと思ってたら、部屋掃除が始まった。あ、そうそう、

すごいんだよ、かおるこの入眠儀式って。

さき え、そうなの？

かおるこ それはいいから。それこそプライバシーの侵害だろうが。

さき え、いつぐらいの話。見えたのは。

2人 2か月前。

あかね あ、ハッピーアイスクリーム。

さき あ、懐かしい。

あかね 食えねえつつうの。

屈託なく笑うあかねと回復早いさき。どうやら笑いの感覚は、この2人が相性良いらしい。

かおるこ 正確には、アンタに同窓会通知を出す1週間前ね。

さき え、それまではどうしてたの？

あかね 気ままにブラブラね。行きそびれた名所旧跡とか。

さき へえ。

あかね アンタのトコも行ったよ。

あかね まあ、どうやらそろそろ限界みたいだし、最後に2人の顔でも見てお

こつかなってね。

かおるこ え？…何それ？ 最後って？

あかね あれ言ってなかったっけ？

かおるこ 早く言いなさいよ。どういう事？

さき 限界って…成仏の？

あかね ま、平たく言うとな。結構キツイんだよ。こつちにいるのも。

さき そうなの？

あかね 早く楽になりたいって感じ？ あ、なんか変か？

さき アンタが言うのはねえ。

再び軽く笑い合うさきとあかね。

かおるこ 聞いてないって。え、いつがリミット？

あかね まあ、普通は…盆明け？

かおるこ 明後日じゃん！

あかね あれ、もうそんなになるか？

かおるこ ちよつとちよつと…

さき ああ、それで？！

かおるこ …え、何？

さき ほら、私がココに入る前、アンタの台詞。独り言。

かおるこ ああ、うん。

さき あれ、あかねと喋ってたのね。

あかね 姿が見えると、声が聞こえる。

さき なるほどお。

あかね どういう仕掛けかは知らんけど。

さき ふーん、コレがねえ…（シヤカシヤカやって）あ、判った。

かおるこ 今度は何？

さき お釈迦様じゃない？。

かおるこ だから何が？

さき シヤカシヤカって。

かおるこ あああ。

さき きつと有り難いのよ。音がさ。

かおるこ シヤカシヤカって？

あかね 私、クリスチャン。

さき …あ、そ。

かおるこ あれ？ えっと、何の話だっけ？

さき ああ、あかねが明後日までって。

かおるこ あ、そうだそうだ。じゃあ、やっぱりココでちゃんとやり直そうよ、コックリさん。

さき いいよ今更。

かおるこ さっきの時間稼ぎ、聞いてたでしょ？ コックリさんの原理とか

解釈とか。

さき まあ、一応。

かおるこ 先入観と腕の筋肉の疲労で、10円玉は動くのよ。

さき でも、誰かの意図でも動くって話だったじゃん。ましてアンタとあかね

でグルだったら。

かおるこ だからインチキじゃないって。それを実証したいの。

さき じゃあ何を占うのよ。

かおるこ や…それはまだ決めてないけど…

さき 詰めが甘いよ、アンタは昔から。

かおるこ や、結果より、3人でやるってプロセスがあ…

あかね （手を上げて）あのお…

2人 何よ！…あ、ごめん。

あかね 告白します。

かおるこ はい？

あかね 私がコインを動かしてました。

さき えっ？

あかね はい。夏休み最後のコックリさん。先導していたのは私です。

かおるこ あかね？

あかね 単独犯です。かおることグルではありません。

さき どういう事？

あかね どうもすみませんでしたあ。

さき だからそうじゃなくて…

あかね さきが杉山君を好きなのは知ってました。知ってて「脈がありますか？」の問いに、「いいえ」に導きました。

さき 何か改めて言われると恥ずかしいなあ…

あかね 3人のコインに向かう力は均等だから、ばれないと思ったけど、勘の

いいさきは、怒り出しました。

さき もういいから。

あかね 4組の杉山とは中学一緒だったから、アイツの本性は判ってた。あの

時も1組の恭子に熱を上げて…さきには似合わないと思ってた。でも…

長い間。動きを止めているあかね。

かおるこ あ、やべ。

慌ててバッグからコンビニ袋を取り出し、さきにも渡すかおるこ。

かおるこ こすってこすって。

さき え？ そうなの？

かおるこ 時々充電が必要なのさ。

ややあつて動きを取り戻すあかね。床に袋を捨てるかおるこ。

ややあつて動きを取り戻すあかね。床に袋を捨てるかおるこ。

ややあつて動きを取り戻すあかね。床に袋を捨てるかおるこ。

ややあつて動きを取り戻すあかね。床に袋を捨てるかおるこ。

ややあつて動きを取り戻すあかね。床に袋を捨てるかおるこ。

ややあつて動きを取り戻すあかね。床に袋を捨てるかおるこ。

あかね ああ、止まってた？

さき (袋に絡んで) つまりある種のエネルギーでもあるのね。

かおるこ (カバンに絡んで) やっぱえ、あと一つだ。

さき (床に絡んで) え？ そこいらのは？

かおるこ 一度使ったヤツはなぜか効果がなくなるの。

さき 実証済みってわけね。

あかね やっぱ間違ってた。

さき え？

あかね 私は間違っていた。

かおるこ ああ、さっきの続き？

あかね コツクリさんでズルをした。ちゃんと喋るべきだった。目の前でさきが傷つくのを見たくなかった。怖かった。

さき あかね…

あかね さきのために、なんて言い訳しながら、自分に酔っていただけかも知れない。

かおるこ あかね…

しばしの間。立ち上がり窓辺に近づくさき。床のビニール袋を拾い始めるかおるこ。

さき 私の所為なんだ。それは判ってる。

かおるこ え？

さき 3人で忍び込んだ夏休みの教室。コツクリさんの途中で喧嘩して、走って家に帰ったら、家族が荷造りしてた。引越しが1週間早まったって。父親がすまなさそうに言った「2学期の始業式、待てなくなっちゃった」って、「まあ、でもその分、新しい学校で頭からスタートできるからな」って。私は怖かった。これが祟りなんだって思った。

かおるこ 祟りって？

あかね あ、もしかして？

さき うん。コツクリさんの仕業。変なことで喧嘩して、途中でコツクリさんを終わっちゃったから。最後の儀式もお礼の言葉も言わずに、私が100円玉から指を放したから。

かおるこ さき…あんたそれで？

さき 静かにこの地を去ろうって。

あかね 私達に禍が及ばないように、ってか？

さき だって…本当に怖かったのよ。何か、タブー犯して呪われたって話、よく雑誌で読んでたし。

あかね 流行ってたからね。都市伝説って言葉が生まれた時代？

さき さっき喋った転校慣れした価値観も嘘じゃない。でも怖くて連絡できなかったのも本当。自分の子供を授かるまで、神社には一度も行けなかった。今でもお稲荷さんにお参りするときは、背筋が伸びる。そして短く謝る。

かおるこ そうだったんだ…

さき だから、さっきかおるこからその紙見せられた時、息が止まった。足がすくんだ。

かおるこ なんか…ゴメン…

さき ううん…

しばしの間。

あかね 杉山の所為だな。

さき えっ？

あかね 全ては杉山の所為ってことにしてさ。過ぎ去った時間はお盆の上には戻らない。

さき …うん。

かおるこ きっと大した生き方してないよ、杉山も。まあ、どこかで変わったかも知れんけど…

あかね ああ、多分早死にしたよ。

かおるこ え、そうなの？ 杉山？

あかね この前見かけたら随分若かった。

さき へえ…

かおるこ 後は何と言っても時代の所為でしょ。

あかね おお、大きく出たな。

かおるこ だってさ、携帯電話もグループLINEも存在してない時代。転校した友達と繋がりが続けるのは至難だった時代。

あかね 確かに。きっと今なら、引越した夜からメールしてる。

かおるこ そんなつまらない迷信で悩んでると知ったら、さっさと大阪出かけて行って、3人で復習戦出来たでしょ？

あかね ああ、そうね。

かおるこ ……さき…大丈夫？

確かに少し前から元気なさげなさき。

さき ……ああ、うん。トイレ何処？

かおるこ 廊下出てすぐ。左手。

さき ちよつと行ってくる。

バッグを手に小走りで去るさき。

あかね ……ホントにトイレでしょうかねえ。

かおるこ え？

あかね もう帰ってこなかったりして。

かおるこ ……あの夏のように？

あかね まさかねえ。

かおるこ ちよつと止めてよ。霊体に言われると、余計に伏線つぼさが増強するでしょ。

あかね ああ、そういうモン？

かおるこ (コックリさんの紙を見ながら) しくじったなあ、てっきりいきつかけ作りになると思ったんだが…

あかね アンタだって、少しは魅かれていたでしょ？

かおるこ え？

あかね プレイボーイ杉山。

かおるこ ……うそ…知ってたの？ え、あの頃から？

あかね まあね。

かおるこ うっそお、中学一緒なの知ってたから一番警戒してたのに。

あかね あれでしょ？ アンタが1年でクラス委員やった時でしょ？

かおるこ うん。…生徒会で時々顔あわせて、ちよつと慰めてもらったことがあってね…

あかね お得意のパターンだな、杉山の…

かおるこ うん。…良くない噂も聞いてたけど、なかなか思いが消せなくて

…ほら、夏休み空けて、さきの机が無くなって、ホームルームで先生が転校を知らせてさあ。

あかね うん。

かおるこ 私めちやめちやショックで、さきに対して「水臭いだろう！」って腹立ってたけど、同時に頭の片隅で「杉山君に告げるかも」って想いも湧いち

やって…

あかね んで？

かおるこ や、でも、そんな自分が恐ろしく不純な気がして、その罪悪感の方が大きくなって、だんだん恋心が萎んでいった。

あかね アンタらしいわ。

かおるこ 今ではホントに好きだったのかも判んない。

あかね どうも判らんない、ヒトの心理は。

かおるこ 急に人外になるなよ。れっきとした元人間が。

軽く笑い合うが、長くは続かない。

あかね 何かね、随分大変だったみたい。

かおるこ え？ ……さき？

あかね うん。いじめとか受けてて。

かおるこ 転校先で？

あかね や、むしろ子供産んでから。ほらママ友とかの。

かおるこ え、何でよ。あの性格だよ。むしろいじめる側の大将でしょう。

あかね それはさ。私達がいたから。

かおるこ ん？

あかね さきがさきで輝いていられたのは、私たちが彼女のコトを理解して

たから。私達がそばにいたから。

かおるこ ……まあ確かに…アイツ、誰かに調子を合わせたり、おべっか使

たり出来ないからな…

あかね ずつとカウンセリングに通ってた。いろいろバランス失って。

かおるこ そう。…それも特殊能力？

あかね まあね。

かおるこ でも…そうかもしれない。私はさきじゃないから判らない。彼女



の人生を背負え切れぬし、あの日のコックリさんが、どれだけ彼女のトラウマになっているか判らない…それは誰にも…

ふと視線を上げ気を読むあかね。かおるこに手振りで何か伝える。

かおるこ (少し声を張って) そうか、さきは帰ったか。

あかね だってトイレ長すぎ。

かおるこ あくあ、メアドも交換してないしい。

あかね 失敗したね。

さき おらおらおらおら。

さきが乱暴に入室。驚かず微笑んで見るかおることあかね。

かおるこ おや、また立ち聞き？

さき 違います！ ヒトのトラウマ勝手に決めるな！

かおるこ 聞いてたんじゃん。

さき あっ！…(あかねに) さてはいるの知ってったな？

あかね 便利でしょう。

かおるこ お帰り。

さき ふん。可哀想だから帰ってきてきてやったわ。

かおるこ 恩を売るなあ、年取ると。

さき やっぱ2人じゃ出来ないかなって、それ。(コックリの紙)

あかね ああ、うん。

さき で、差し入れ。

コンビニ袋を大量に床にばらまくさき。

かおるこ あんたこれ？

さき 買ってきた、コンビニで。

かおるこ ナイス！ え？ レジで？

さき うん。1枚3円。

かおるこ 商品も買わずに？

さき これだってれつきとした商品でしょ。店員困り顔だったけど。

かおるこ あんたさあ…

あかね あのね君たち。

2人 え？

気付けばあかねが少し距離を取っている。

あかね 死者の声を聴きたもう。

2人 ああ、はい…

あかね あつちに居るといろいろ判る。ポックリ逝った奴の方が未練は強い。

かおるこ あんたは長かったからね、闘病。

あかね 痛いには参ったが、死ぬってコトを考える時間もたつぷりあった。

さき あかね…

あかね 想像してご覧、地球上のみんながさあ…

さき 出た。長いぞ、ジョンレノン。

指をパチンと鳴らして音と明かりを呼ぶあかね。

あかね 想像してご覧。地球上に溢れてる、老人たちの魂を。死ぬのは怖い、

死ぬのは嫌だ、何で死ぬんだろう？ 死んだらどうなる？ そして後悔…

かおるこ ああしておけば良かった。あの時に戻れたら…

あかね でも、きっと大丈夫。神様は人に「忘れる」という特殊能力を与えて

くれたから。それは誰にも平等で、そして公平だから。きっと大丈夫。頭で

考えることを離れて心で生きていけるから。それはとつても平穩だから。

さき ……そっかあ。

あかね おしまい。

しらっと地明かりに戻る舞台。

さき 何か有り難かったねえ。

あかね じゃあま、やりますか？ 邪教の遊びを。

かおるこ 私達があの日やり残したコックリさん。

さき でも、何を占うの？ ……つてか、思えばコックリさんに聞かなくても、

あかねに聞けばいいんじゃない？

**かおるこ** それを言うな。

**さき** で、あかねは動かせるの？

**あかね** うん、何とか。

**かおるこ** 霊力とかもあるしね。

**さき** ちょっと怖いなあ…

**かおるこ** じゃあ、もう一度おさらい。

タブレット端末をあかねの前に置く。

**あかね** では最後に、こっくりさんの注意点をまとめておきましょう。心を落

ち着かせて紙に向かう。決して1人ではやらない。遊び半分ではない。そ

れから…(画面をスライドする)：

**かおるこ** お、腕を上げたな。

**あかね** 10円玉から指を離さない。中断禁止。最後は必ず10円玉を鳥居に

戻しお礼を言う。紙は清めて細かく切り、10円玉はなるべく早く使う。

**さき** …ああ、そうそう。…そうだったねえ。

**かおるこ** 何で涙ぐんでるのよ？ アンタが。

**さき** だって…：…なんにもかもが懐かしい。みんなドキドキしてた。毎日を真新

しく過ごしてた。その分多分キラキラしてた。

**かおるこ** ああ、うん。

**あかね** じゃあ行くよ。

3人おもむろに机を囲み、指を10円玉に乗せる。

**3人** 「こっくりさん、こっくりさん。どうぞおいでください。おいでになら  
れましたら「はい」に進んでください。」

しばしの間。明かりがゆっくり落ちていく。10円玉かすかに…

**3人** おっ。

おしまい